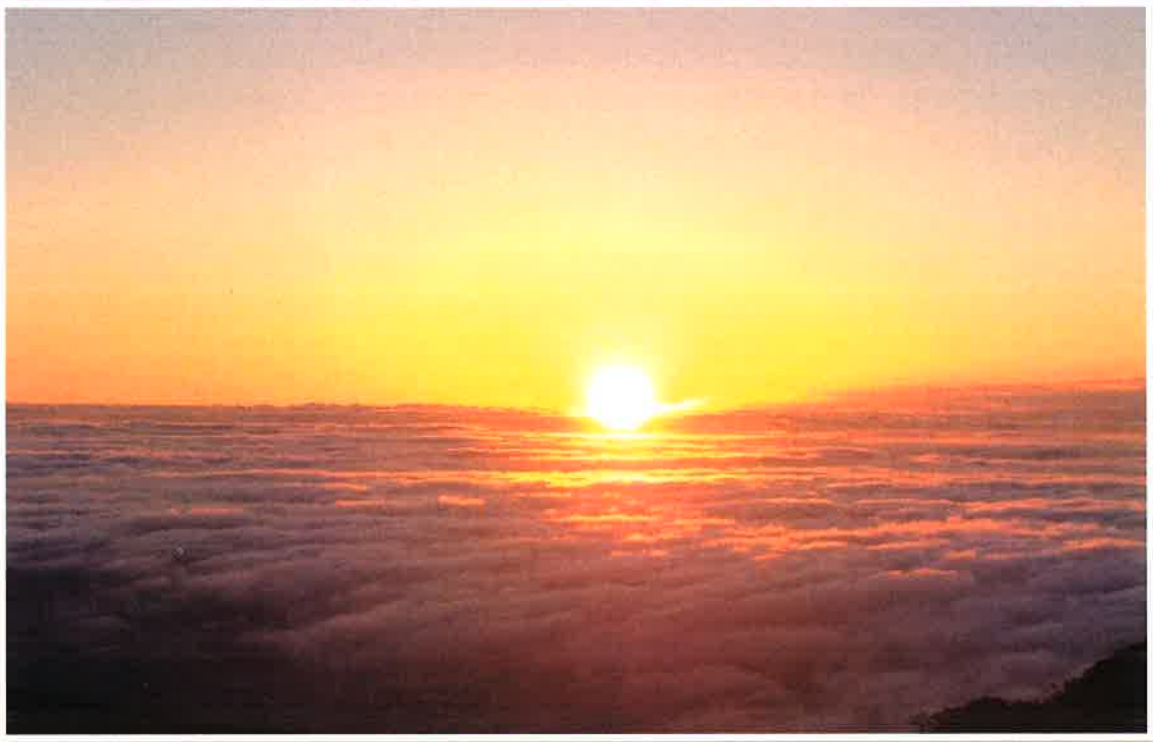




2022.1月発行

第53集

協議会だより



謹んで初春のお喜びを申し上げます。

一般社団法人 岩手県訪問看護ステーション協議会
会長 関 りゅう子

新型コロナウイルス感染防止対策の対応に、日々奮闘している会員の皆様・訪問看護等関係者の方々に心より感謝申し上げます。

お陰様で令和3年度の事業は基本方針に変更はなく無事に進めることができました。コロナ感染症収束の見えない年でしたが、研修会では、最新の知識を身につけようとする意気込みが感じられました。国からは、新型コロナウイルスに対峙してきた医療現場などで働く看護職員の収入増を図るとの方針が示され、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に、看護職員の収入の引き上げが盛り込まれました。日本看護協会は日本訪問看護財団・全国訪問看護事業協会と連名で要望書を提出し、給与引き上げを行うための措置を、令和4年度診療報酬改定において講じるよう求めました。また、令和4年度診療報酬改定に関し地域包括ケアシステムの中で訪問看護が十分に役割を発揮し、生活の場での療養を支えて行けるよう要望書を提出しています。

重点要望事項は 1、訪問看護ステーションと医療機関等の連携強化 2、訪問看護ステーションによる在宅療養継続支援の強化 3、ICTを活用した訪問看護の業務効率化の推進の3点にまとめられてます。(詳しくは

日看協ホームページ)

診療報酬改定は医療現場の実態を調査・分析した「エビデンス」をベースに実施されます。見直しが行われた場合、当年度・翌年度に算定状況や効果を調査。結果、課題が解消されていないことが判断されれば、さらなる見直しを、別の課題が浮上した場合には異なる角度から見直しが行なわれます。診療報酬改定の内容の理解は、訪問看護に必要な制度・報酬を理解することであり、適切に活用するために必要なことと改めて実感しています。

昨年から続くコロナ禍は、訪問看護をめぐる状況を変化させ、在宅医療の体制構築に向けて地域の実情に応じた実行性のある対応が求められるようになりました。

当協議会はどう事業を実践すべきか、その方向性を考えました。まず、行政担当者、地域の在宅医療・訪問看護の関係者等と情報や意見交換を行い、課題と方向性の認識を共有する。次いで、市町村の協議の場の参加者となった際は地域の実情に応じた看護の現状や課題等、具体的な方策等について発言する。施策への提案や反映ができる協議会でありたいと思いました。今年度も会員の皆様には、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

令和3年度在宅医療人材育成研修

「小児訪問看護研修」 のご報告

訪問看護ステーションらら 上澤 真樹

小児の訪問看護については経験が無い看護師が多く不安が大きい、受け入れ難いのが現状と思います。自宅で安心して生活をするために、児のケアだけではなく、お母さん、お父さん含めた家族のケアも重要であるとともに保育所、幼稚園、小中学校など教育、福祉などの支援体制の確立、連携も必要と感じております。ステーションのマンパワーや地域のステーション数など、県全体で見ると地域差が大きいのではないのでしょうか。しかしどこの地域にも医療的ケアが必要な児がいることも現実です。

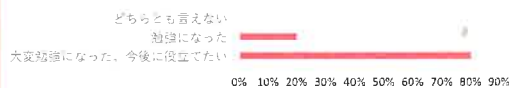
小児訪問看護の現状と課題～障がい児、医療的ケア児をもつママ達の声～と題して、訪問看護ステーションもりのみやこ 近藤麻美さん、大崎真紀さんにご講演頂きました。医療的ケアを必要とするお子様が增加していること、訪問看護導入までの流れを入院中からの支援、事前に在宅をイメージしてもらうために行っている内容、家族の支援だけではなく家族力の育て方を実際の看護を例にご指導頂きました。訪問看護のサービスを受けているご家族のビデオメッセージには感謝の言葉やお子様を取り巻く家族の姿が映し出され、感動し胸が熱くなりました。

今回の研修を受け、小児訪問看護の導入の流れやケアを行うスタッフの心構えが整い、少しでも多くのステーションが不安なく受け入れ態勢の構築ができればと思います。

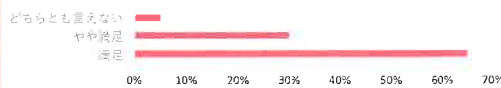
医療的ケア児を巡っては、昨年9月に議員立法で「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され国や自治体が医療的ケア児と家族の生活を社会全体で支える責務があると明記されました。この法律により医療的ケア児の健やかな成長、その家族の離職の防止、安心して子どもを生み、育てることができる社会が実現されるとともに今後の支援強化が期待されます。



小児訪問看護研修を受けて如何でしたか



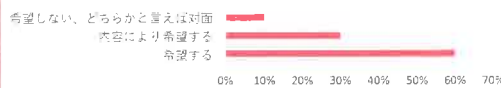
日時・開催時期について



WEB開催について



今後もWEB研修会を希望しますか



令和3年度在宅医療人材育成研修

「精神科訪問看護研修」のご報告

内丸病院訪問看護ステーション 鎌田 眞紀

令和3年11月13日(土)13:30からふれあいランド岩手で、Webと会場のハイブリッド形式での研修会が開催されました。

講師は、訪問看護ステーション結いの手管理者・精神科看護認定看護師 飯嶋純一氏とこちらの訪問看護ステーション三田管理者・精神科看護認定看護師 米澤慎子氏のお二人で、基礎知識のほか具体的な事例をもとにわかりやすく講義いただきました。

初回訪問での関わり方の工夫や困りごとに対し一緒に取り組むことで受け入れられやすくなるなどの精神科看護での関係性づくりについて、またGAFの判定方法や捉え方などはこれでいいのかなと思っていたところだったので大変勉強になりました。教えていただいたことをステーション内でも共有し精神科訪問看護をさらに質の高いものにできたらいいなと思っています。

令和3年度在宅医療人材育成研修会
協議会主催

精神科訪問看護研修会

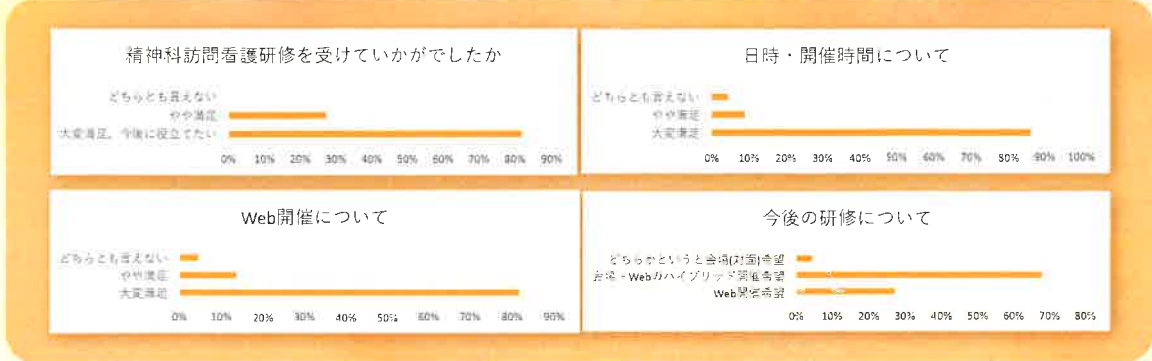
第1部 【講師：飯嶋純一氏】
訪問看護ステーション結いの手 管理者 精神科看護認定看護師
はじめてみよう！精神科訪問看護
～基礎知識編（統合失調症の看護）～

第2部 【講師：米澤慎子氏】
こちらの訪問看護ステーション三田 管理者精神科看護認定看護師
精神科訪問看護Q&A
利用者の家族が精神疾患・虐待などこんな時
どうすればいい？

日程 2021年 11月13日(土)
時間 13:30～15:00
会場 ふれあいランド岩手2階 研修室
〒020-0331 岩手県盛岡市盛岡3丁目3番01号 019-637-1300
定員 会場参加20名 Web参加可 参加費無料
お申し込み先
訪問看護ステーション結びがとう
Eメール yutorikango-556p@nifty.com
FAX 019-687-6500

この研修会は主催し（他）事務局で実施する個人事業主として開催します

【主催】一般社団法人 | 岩手県訪問看護ステーション協議会



教育委員、実行委員より

令和3年度在宅医療人材育成研修について大変な状況の中、多数のご参加ありがとうございました。感染状況により Web 研修や会場とのハイブリッド研修など試行錯誤しながら開催いたしました。開催場所によってはネットワークがうまくいかず聞き取りにくかったり、スライド画面が共有されないなどトラブルが発生してしまいました。申し訳ございませんでした。アンケートの結果やご意見を踏まえ今後の研修に役立てていきたいと思っております。

沿岸ブロック研修会

【日時】令和3年11月20日(土) 13:30~15:00

【持続可能なステーション運営】

【講師】訪問看護ステーションメディケア ガルシア 小織

11月20日に大船渡でブロック研修を行いました。参加者は10名でした。

今後のステーション運営を見据えて、久しぶりの対面でのワークショップ、意見交換に花が咲きました。今後のステーションさんの活躍を期待致します。

〈報告者〉沿岸ブロック長
訪問看護ステーションメディケア ガルシア 小織



中央ABブロック合同研修会

今年度のブロック研修会はコロナ禍でありZOOMでの開催となりました。今年度のテーマは「ステーションの困りごとを考える」として研修会前にアンケートで各ステーションの困りごとについて回答いただいた内容を参加のステーションで共有することにしました。また、令和2年度の訪問看護師人材育成研修会に参加した内丸訪問看護ステーションの鎌田真紀さん、はなえみ訪問看護ステーションの高橋和枝さんから伝達講習をして頂きました。当日は他のステーションが困っている事が共有できたことやそれに対する意見が聞けたこと、今後予測される困難事例や問題についても自分たちの事業所で取り入れられる部分や改善点が聞けたと意見がありました。またコロナ禍で他のステーションとの交流がなかったのでも有意義な時間だったとの意見もあり、今後も研修会を通して各ステーションの交流の機会を作っていく事も必要だと感じると共に、業務の都合で参加できなかったステーションにも研修を共有する事が出来るようにしていきたいと感じました。



〈報告者〉ブライトステージ 吉田 香織

県南Aブロック研修会

【日時】令和3年9月11日(土) 13:30~15:00 ZOOM研修

【フットケアの基礎知識を学ぶ】

【講師】NPO法人日本在宅フットケア普及協会
国民健康保険まごころ病院 看護師長 井上ヒトミ氏

【地域の訪問看護のこれからを考えよう】

全国訪問看護事業協会 訪問看護講師人材養成研修会受講の伝達講習

【講師】訪問看護ステーションやばば 管理者 坂本由美子氏
訪問看護ステーションありがとうケアプラン室ありがとう
代表取締役 高橋栄子氏

フットケアについては、足に問題を抱えていることで普段の生活に支障をきたす場合があり、「足の観察」から「全身の観察」を行ない、どこに問題があるのかをアセスメントしケアを実践していくことの重要性を学びました。

受講者の方々からも、日頃、利用者の爪切りで悩んでいたが具体的なフットケア方法を学ぶことができ、実践に活かしていきたいなどの感想があり有意義な研修になりました。

人材育成研修会伝達講習では、事前にワークシートを用い地域の課題など整理し受講することで意見交換と情報共有ができました。人材育成の難しさや課題などの意見交換がありました。お忙しい中3名の講師の方々の協力のもと研修を行うことができて感謝しています。

〈報告者〉県南Aブロック長
水沢病院訪問看護ステーションきらり 菊地 浩子

県南Bブロック研修会

令和3年9月4日(土)、県南Bブロック研修会を開催致しました。「家族看護論」をテーマとし、岩手医科大学付属病院 緩和ケアセンター 乳がん看護認定看護師 三浦一穂先生よりご講義頂きました。会場とWebでの開催を検討しておりましたが、最終的にWebでの開催となりました。

短い時間ではありましたが、参加者の皆さまと「家族看護論」についてディスカッションし、日頃の疑問や悩み等も共有することが出来ました。研修後アンケートより、「日々直面している内容であり、在宅の場面においては家族を看護対象として捉えることの重要性について再認識できた。」「今までやってきたこと、悩んでいたことを理論的に整理でき良かった。」との意見が聞かれ、とても学びの多い研修となりました。

開催にあたり、ブロック会員の皆さまのご協力ありがとうございました。

〈報告者〉訪問看護ステーション北上済生会 内舘 真由美

岩手県訪問看護 ステーション協議会 県南Bブロック研修会

対象 訪問看護ステーション職員
テーマ 「家族看護論」
講師 岩手医科大学付属病院 緩和ケアセンター 乳がん看護認定看護師 三浦 一穂氏
開催場所 北上済生会病院 2F 大会議室
※コロナ感染状況によってZoom開催

開催日時 令和3年 9月4日(土)
13:30~15:20

申込方法
お申し込みは、お申し込み用紙を
〒028-3615 岩手県北上市南矢町大字南矢幅7-445
岩手県訪問看護ステーション協議会事務局へ
〒028-3615 岩手県北上市南矢町大字南矢幅7-445



編集後記

本年も宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス、オミクロン株の感染拡大で気を抜けない日々をお過ごしと思います。そのような中でも利用者さんを支え続ける訪問看護に誇りを持っております。明るい未来のために、今一度、密を避ける。マスク、うがい、手洗い、消毒を徹底しこの難局を乗り越えましょう。

第53集 協議会だより 1月号

発行所：一般社団法人
岩手県訪問看護ステーション協議会

〒028-3615 紫波郡矢巾町大字南矢幅7-445
TEL:019-613-4493 FAX:019-613-4494
E-mail: iwate_kango_st0425@outlook.jp

発行人(広報): 鎌田 真紀 ・ 上澤 真樹